

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

北大東島しま・ひと・しごと創成推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県島尻郡北大東村

### 3 地域再生計画の区域

沖縄県島尻郡北大東村の全域

### 4 地域再生計画の目標

北大東村の人口規模は 2015 年度末現在で人口 590 人、283 世帯（住民基本台帳）となっており、14 年前（人口 559 人）と比べて増加ながら、直近は減少傾向にあり、2023 年度末には 557 人となっています。近年は 500 人超の水準を保っていますが、戦前の燐鉱石採掘で栄えた当時の約 2,700 人、戦後昭和 30 年代の約 1,000 人の水準とは大きく隔たっていますが、現在の島の経済社会のあり方に即した人口規模であると考えられます。ただし、国立社会保障・人口問題研究所によると、2050 年には 467 人まで減少する見込みです。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は平成 13 年の 138 人をピークに減少し、令和 6 年には 75 人となる一方、老年人口（65 歳以上）は平成 12 年の 74 人から令和 5 年には 131 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64 歳）も平成 26 年の 369 人をピークに減少傾向にあり、令和 6 年には 328 人となっている。

自然動態をみると、出生数は平成 29 年の 13 人をピークに減少し、令和 5 年には 3 人となっている。その一方で、死亡数は平成 25 年には 7 人と増加したが近年は 1～3 人での推移となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は令和 1～5 年で +6 人（自然増）となっている。

社会動態をみると、平成 21 年には転入者（77 人）が転出者（56 人）を上回る社会増（21 人）であった。しかし、地域の経済活動が限られているため、働き口が少

なく、若者が地元に残る理由が少ないことで、転出者が増加し、令和2年には▲20人の社会減となっている。このように、人口の減少は転出者の増加（社会減）や等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

上記の課題に対応するため、本村では「ひと（生活）づくり」「仕事（生業）づくり」「しま（自然）づくり」の3つの施策分野を設けて以下の方針に沿った取組を進めていきます。

1. 温故知新、つながりのあるコミュニティ、しまちゃびに屈せず豊かに暮らせて、自立を促し、安心して住める・帰ってこられる生活環境づくりを推進する。
2. 高付加価値の農業と水産業が輝く生産環境づくりを推進し、参加と交流の中で成長する観光づくりを目指し、多様な働き方で多様な人材が行き交う生業づくりを推進する。
3. 北大東島にしかない自然を活かし、自然の上に築かれた先人の思いを未来へ結ぶ景観づくりを創出し、北大東島に適した次世代に向けた循環型のエコアイランドを推進する。
4. 北大東らしさを共有し、持続させる官民連携の体制を構築し、適切な土地利用誘導とニューインフラ整備によるスマートな暮らしづくりを創出し、多様な人材を惹き込み、交流と参加による北大東島ネットワークづくりを推進する。

- 基本目標 1 豊かに暮らし続けられる北大東島
- 基本目標 2 多様な働き方が実現する元気な北大東島
- 基本目標 3 自然と共に生きる環境循環型の北大東島
- 基本目標 4 地域らしさが鮮やかに彩り持続し続ける北大東島

**【数値目標】**

|              |       |                 |               |                    |
|--------------|-------|-----------------|---------------|--------------------|
| 5-2の<br>①に掲げ | K P I | 現状値<br>(計画開始時点) | 目標値<br>(R9年度) | 達成に寄与する<br>地方版総合戦略 |
|--------------|-------|-----------------|---------------|--------------------|

| る事業 |                                  |          |          | の基本目標 |
|-----|----------------------------------|----------|----------|-------|
| ア   | 出生数（5年間）                         | 16人      | 30人      | 基本目標1 |
|     | 0～4歳の人口                          | 20人      | 40人      |       |
|     | 「沖縄県学力度到達調査」における平均正答率の県と村の差（小学生） | -4.4%    | 県平均以上    |       |
|     | 「沖縄県学力度到達調査」における平均正答率の県と村の差（中学生） | +1.3%    | 県平均以上    |       |
|     | 青年会・ママさん会など地域活動団体主催のイベント開催数      | 1回/年     | 3回/年     |       |
|     | 村内イベントに対する村民の満足度                 | 32%      | 50%      |       |
|     | 集会所（コミュニティ拠点）整備および更新の着手数         | 0件       | 3件       |       |
|     | 特定健診受診率                          | 67%      | 75%      |       |
|     | 持家世帯数                            | 93世帯     | 100世帯    |       |
|     | 新規宅地の整備計画着手                      | 0箇所      | 3箇所      |       |
|     | 1日当たり航空機輸送人数                     | 50人      | 100人     |       |
|     | 消防団員数                            | 35人      | 40人      |       |
|     | 出火件数                             | 1件       | 0件       |       |
| イ   | サトウキビ生産量                         | 20,387トン | 31,684トン | 基本目標2 |
|     | 農業総生産額                           | 356百万    | 541百万    |       |
|     | マグロの年間漁獲量の拡大                     | 74.8トン   | 87.3トン   |       |
|     | 陸上養殖水産物出荷額                       | 1.2百万円   | 15百万円    |       |
|     | 水産業総生産額                          | 54百万     | 130百万    |       |

|   |                   |           |         |       |
|---|-------------------|-----------|---------|-------|
|   | 観光関連事業の就業者数       | 34人       | 50人     |       |
|   | 観光ガイド人数           | 1人        | 5人      |       |
|   | パラレルキャリア推進制度の利用者数 | 0人        | 50人     |       |
|   | 技術向上に向けた研修への参加者数  | 0人        | 50人     |       |
| ウ | 海水COD             | 未計測       | 2mg/L   | 基本目標3 |
|   | 地下浸透海水を使用した商品開発数  | 0品        | 5品      |       |
|   | 外来種を活用した商品開発数     | 0品        | 5品      |       |
|   | 遺構を活かした施設・空間整備の数  | 1箇所       | 3箇所     |       |
|   | 公共施設へのドロマイト修景整備   | 0件        | 5件以上    |       |
|   | うふあがり島景観協議会活動     | 0回/年      | 1回/年    |       |
|   | 一人当たりゴミ排出量        | 1,012 g/日 | 810 g/日 |       |
|   | 合併浄化槽の設置普及率       | 54.6%     | 60%     |       |
|   | 研究プロジェクトの実施件数     | 3件        | 8件      |       |

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

## ① 事業の名称

北大東島しま・ひと・しごと創生推進事業

ア 豊かな暮らしづくり支援事業

イ 多様な働き方づくり支援事業

ウ 自然と共に生きる環境循環型社会支援事業

## ② 事業の内容

ア 豊かな暮らしづくり支援事業

- ・妊婦健康診査受診や不妊治療にかかる渡航費・宿泊費支援、出産祝い金（出産助成金）を継続し、出産・子育てに関する経済的支援を実施する。
- ・島内でも安心して妊婦期を過ごせるよう、診療所における医療体制強化を推進する。
- ・妊産婦、母子および父子のケア・サポート体制の充実を図り、安心して子育てができる環境づくりを推進する。
- ・子ども達が安全・安心して楽しく保育生活を過ごせるよう、こども園における保育環境の向上、保育士の確保及び質の向上を推進する。
- ・地域拠点（字集会所）等における子育て支援や交流を推進する。
- ・発達の遅れや障がいのあるこどもの相談体制や支援充実、多様性を認め助け合う社会づくりを推進する。
- ・島ぐるみで子育て世帯を応援する仕組みづくりを推進する。
- ・海底光ケーブルの開通により安定した通信環境を活用し、遠隔授業や ICT を活用した授業の増進にむけて端末整備及び活用を推進する。
- ・島の経済を支える主要産業への職場体験や島内行事における子供達の役割等を通じて、北大東らしいキャリア教育を推進する。
- ・島外の高等学校進学にあたり、生活費や帰省にかかる交通費の補助を行い、保護者の経済的負担軽減策を継続します。
- ・青年会や地域の活動団体、村民有志が主導・提案するイベントづくりを推進し、その活動を支援する。
- ・海の資源をより気軽に安全に活用できるよう、マリンスポーツや海岸遊び、磯釣り拠点強化・充実を図ります。
- ・島内にいながら島外医療機関と繋がり、遠隔医療を受けることのできる環境

構築に向けて、先進地の調査を踏まえた方向性の検討や I C T 機器の整備等を推進します。

- ・ 島外医療機関の受診にかかる医療費や交通費の負担を軽減する経済的支援をします。
- ・ 農福観連携による 6 次産業化事業を継続的に取り組み、高齢者・障がい者等の就労・社会参画モデルとして定着させ、他の産業への展開を視野に連携先の拡大を図ります。
- ・ 高い住宅建設費のへの対応として、輸送費や設計費の負担軽減策に向けた支援を関係機関との連携を図り推進します。
- ・ 食料自給に向け、水耕栽培および家庭菜園を促進として共同販売所を含む出荷・流通体制の整備を図ります。
- ・ 南北大東両村で所有する船舶「だいとう」の海上輸送体制の強化に向け、新船舶への更新を南大東村と連携し、整備を図ります。
- ・ 安心して充実した暮らし実現のため、学校教育や医療福祉の分野において、情報通信および ICT 環境の強化を推進する
- ・ 中長期滞在施設の整備など、交流から定住に繋がる仕組みづくりを推進する。
- ・ 3 つの集落と主要な公共施設を公共交通でネットワークさせ、コンパクトに暮らせるしまづくりを推進する。
- ・ 情報通信インフラ（光回線）の島内充実を実現させ、暮らしや生業の質の向上を図る。

### 【具体的な事業】

- ・ 特別医療質確保推進事業
- ・ 離島航路安定化事業 等

### イ 多様な働き方づくり支援事業

- ・ 農業生産基盤整備に取り組み、灌漑施設および貯水施設（水源施設）整備を推進する。
- ・ 生産性向上に向けた土壌改良（土づくり）による地力の増進を積極的に推進し、農薬や化学肥料の適正量の研究・分析を推進する。

- ・スマート農業を実現するため、ICT・5G・ドローン・AI・自動化など先進的な農業技術の導入を図る。
- ・天候や季節に左右されないハウス栽培（水耕栽培含む）、植物工場など施設栽培の導入・機能拡大を検討し、野菜類の島内流通を図る。
- ・基幹産業であるサトウキビの生産量向上を図りつつ、併せて付加価値の高い農作物の栽培を推進する。
- ・サトウキビとの輪作として生産されるじゃがいも・カボチャは、高い市場評価・需要に基づく生産量及び品質向上、さらなる販路開拓を図る。
- ・6次産業の推進を図るために、観光業や水産業など多様な産業と連携しながら、生産、加工、販売（販路開拓）など、北大東島ならではの付加価値の高い農産物生産システムの構築を図る。
- ・新規中型漁船の導入支援を実施するとともに、水産加工施設の機能強化・充実を図る。
- ・近海へのパヤオ新設など漁獲量の拡大と新規就業者の育成を図ります。
- ・観光事業者と連携を図り、遊漁やフィッシング大会、ブルーツーリズムを推進する。
- ・北大東島の自然や歴史・文化を活かした観光拠点やコンテンツ開発を実行し、付加価値の高い北大東観光づくりを推進する。
- ・多様な情報発信ツールを活用し、北大東島観光プロポーショナルを積極的に推進する。
- ・スマートな産業への対応、先進的な就業を実現するため、ICTの利活用を推進する。
- ・福祉施設運営、住宅供給、観光案内所やミュージアム（民俗資料館）などの公共施設の管理運営に民間活力（PPP/PFI）を活用し、柔軟性の高い利活用を推進する。

### 【具体的な事業】

- ・土づくり推進事業
- ・自給自足農園システムの普及促進
- ・新規参入希望者に対する研修及び体験就業の実施 等

## ウ 自然と共に生きる環境循環型社会支援事業

- ・ 外来種について適切な駆除を推進しつつ、地域資源としての有効活用を検討する。
- ・ 北大東島を特徴づける地形や地質・土壌については、その形成過程を研究機関と連携し調査するとともに、地域学習や観光資源としての活用を推進する。
- ・ 地域活動団体が主体的に実施する自然環境保全活動を推進する。
- ・ 全ての産業活動において、環境負荷がないよう、産業廃棄物の適切処理、産業排水の水質浄化を徹底し、可能な限りクリーンエネルギーの活用および低炭素化を促進する。
- ・ 地下浸透海水の取水及び成分分析、活用可能性調査等を適宜実施し、新たな産業づくり、地域おこしを推進する。
- ・ 字港集落内の歴史的建造物について、積極的な活用整備を図り、りんこう交流館を中心とした組積遺構が集積する範囲を「文化的景観拠点エリア」として、先行的な活用整備を推進する。
- ・ 玉置碑や各神社、地蔵さん、獣魂碑など、島の行事催行、コミュニティの拠点となる施設の維持管理・更新・整備を推進する。
- ・ 村民が自主的に実施する緑化・美化活動に対し積極的な支援を推進する。
- ・ クリーンセンターについて、環境負荷に優しい新たなクリーンセンターへの更新を推進する。
- ・ 回収した資源ごみの適切な処理を推進し、島内リサイクルの可能性調査・検討を推進する。
- ・ し尿処理について、適切な処理及びエネルギー（バイオマス）や農業用肥料転換への可能性を検討推進する。
- ・ 太陽光、風力などの再生可能エネルギー、水素やバイオマスなどの次世代型エネルギー活用に向け、北大東島に適したエネルギーを検討推進する。
- ・ 脱炭素やカーボンニュートラルな社会を目指し、公共施設の省エネ化、次世代モビリティの導入を推進する。
- ・ 島内移動や公共交通に新エネルギーを活用したモビリティの導入を検討する。

### 【具体的な事業】

- ・ 深層地下海水利活用事業
- ・ 島内エネルギーの低炭素化のための実証実験の推進 等

※なお、詳細は第2次北大東村しま・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略のとおり。③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

200,000千円（令和7年年度～令和9年年度累計）

#### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

本事業のKPIについて、毎年度2月頃に資料収集を行い、外部有識者が参加した評価組織にて評価検証を行う。検証後速やかに北大東村公式ホームページ上で公表する。

#### ⑥ 事業実施期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

## 6 計画期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで